



も く じ

1. 令和2年度 大阪府登録文化財所有者の会 総会（第16回）レポート

挨拶 会長 寺西 興一

令和2年度 第16回 総会 議事録

議案1号 令和元年度 事業経過報告

議案2号 令和元年度 決算

議案3号 令和元年度 監査報告

議案4号 令和2年度 事業計画

議案5号 令和2年度 予算

2. 令和2年度大阪府ヘリテージマネージャー育成講座内容

3. はじめよう、文化財の活用

第1回 染藍で染めを楽しむ

10月31日（土） 奥野家住宅（豊中市）

第2回 瓦の拓本を通して歴史を感じる

11月28日（土） 兒山家住宅（堺市中区）

第3回 酒蔵で楽しむ「弁士付無声映画・浮草物語」

12月12日（土） 岩根家住宅（富田林市）

第4回 江戸の古民家で大阪欄間にふれる

1月23日（土） 藤井家住宅（東大阪市）

第5回 「能面」から見る能の魅力

1月30日（土） 源ヶ橋温泉（大阪市生野区）

4. 国登録有形文化財建造物の保存と 活用のシステムの構築と課題

5. 御財印帳の取り組み

6. あとがき



源ヶ橋温泉で行われた「能」のTV撮影

大阪府登録文化財所有者の会 挨拶

会長 寺西 興一

これまでの総会では、毎年、異なる場所で行い、その地域の文化財の見学を行った後に総会を開催し、記念講演および懇親会を行ってきました。そして、大阪府教育庁をはじめとする行政関係者の方々、他の所有者の会の方々にもご参加いただき交流させていただきました。

しかし、今年度は、新型コロナウイルスが、わが国でも感染が拡大し、その対策として、マスクの着用、手指の消毒やうがい、もちろんのこと三密（密閉空間、密集場所、密接場所）を避けるということになりました。そのため今年度の総会は、役員による会場での決議と正会員による書面決議による開催となりました。

新型コロナウイルスの対策費が必要となるので、文化庁の予算が厳しくなるかと思っていましたが、事業費として約1800万円と昨年の1.6倍の額が認められました。このことにより、これまでの「大阪府ヘリテージマネージャー育成講座」をはじめ、ポータルサイトでは、中国語（簡体字）や韓国語も追加できるようになりました。また、MAPの作成では、南河内地区に移ることができ、各登録有形文化財の案内説明板も作成することができるようになりました。そして、各登録有形文化財でワークショップを行い、その建物の紹介や周辺の街並みの案内ができるようになりました。

令和2年度 大阪府登録文化財所有者の会 第16回 総会

今年度の総会は、新型コロナウイルスの感染に伴い総会で全員が会合することができなくなったため、運営委員が参集し議決すると共にそれ以外の正会員については書面議決を行った。

その結果、全議案について当日、参加した正会員4名および書面議決45名（FAX36名、封書5名、メール4名）の全員が賛成であり、承認された。

なお、意見欄に次のような記載がありました。

- 令和2年度の事業計画で「小冊子改定に向けての準備」で2021年版を仕上がるのを喜ばれる方がいらっしゃるでしょう。求められる方が時折おられるのでよかったです。
- 私事ですが、2018年北部地震で軽く、台風21号でも被害を受けました。全面改修後1年での被害でしたので、すぐに修繕し、安心していたのですが、昨今の風雨のせいひびが広がり補修を重ねています。機会があれば修繕計画等どうなさっているのかお伺いしたいです。入会前に報告されていれば済みません。

第16回 総会 議事録

議案1号 令和元年度 事業経過報告

1、総会の開催

第15回 総会 6月2日（日）

テクスピア大阪

第1部 視察会（参加者 50名）

田中家本陣（登文）、旧海野家住宅（登文）

第2部 通常総会（参加者 42名）

（来賓）

大阪府 教育庁 文化財保護課

小浜成氏 神谷悠実氏

京都登文会 会長 塚本喜左衛門氏

愛知登文会 副会長 天野啓介氏

三重登文会 会 長 大西武夫氏
 事務局 長 岩見勝由氏
 大阪府建築士会理事 阪田晴宏氏
 大阪府ヘリテージマネージャー協議会
 副会長 所 千夏氏

(1) 事業経過報告、決算報告、監査報告
 が承認された。

(2) 役員改選が承認された。

会 長	寺西 興一	(再任)
副 会 長	兒山万珠代	(再任)
副 会 長	奥野 孝子	(再任)
副 会 長	岩根 正尚	(再任)
副 会 長	南川 孝司	(再任)
会 計	昇 勇	(再任)
監 査	小谷 寛	(再任)
監 査	神谷 悠実	(再任)
事務局 長	青山 修司	(再任)

(3) 事業計画が承認された。

第3部 懇親会(参加者30名)
 美探美食 小津

2、大阪府建築士会主催の文化庁補助事業 共催・協力

(補助予算：1067万円)

(1) 大阪府登録有形文化財ポータルサイ
 ト(大阪文化財ナビ)

(スマホ等で大阪府の登録有形文化財の
 検索を中国語(繁体字)訳でも表示し
 た。)

(2) 地域の情報発信事業

「堺・泉州北部歴史的建造物マップ」
 を作成した。

(3) 大阪府ヘリテージマネージャー育成
 事業

10日間で40単位の講座を行い、ヘリ
 テージマネージャー19名を育成した。
 ステップアップ講座を2回開催した。

(4) 登録文化財の活用を通じて保存を学
 ぶ(文活)

登録有形文化財で見学とワークショ
 ョップ等を行い、周辺地域の視察も行っ
 た。

- ① 正木美術館 和菓子製作・茶道体験
- ② 山田家住宅 稲藁リースの制作
- ③ 旧麗天館 手刻み体験
- ④ 心光寺 書道体験
- ⑤ 三木楽器 船場の歴史研究
 大阪講談

⑥ 願得寺 能楽

(5) 登録有形文化財の説明板の作成

登録有形文化財20箇所作成した。

(6) 大阪講談の楽しみ方

中之島図書館で玉田玉秀斎の大阪講
 談等を行った。

3、運営委員会の開催(12回開催)

4月17日、5月10日、6月19日、7
 月17日、8月21日、9月18日、10月
 16日、11月20日、12月18日、1月
 15日、2月19日、3月18日、

4、全国登文会等各種団体との交流を行っ た。

(1) 他県の登録有形文化財所有者の団体
 との交流

①京都、②秋田、③愛知、④群馬、⑤
 東京、⑥和歌山、⑦三重、⑧神奈川県
 登文会各登録文化財の会との交流を
 おこなった。

(2) 国登録有形文化財全国所有者の会(略
 称：全国登文会)の設立総会を令和元
 年6月22日に行った。

(3) 国登録有形文化財全国所有者の会(略
 称：全国登文会)の理事会が開催され、
 理事長として寺西興一、理事・事務局
 長として青山修司が選出された。同日
 全国登文会の事務所についても話し
 合いがもたれ、大阪府中央区伏見町
 2-2-6ということになった。

(参考) (敬称略)

全国登録有形文化財所有者の役員名簿		
理事長	寺西 興一	大阪
副理事長	小栗 宏次	愛知
副理事長	塚本喜左衛門	京都
副理事長	渡辺 俊司	東京
理事	石川 耿一	秋田
理事	北川 紘一郎	群馬
理事	中野 明彦	和歌山
理事	大西 武夫	三重
理事	長島 孝一	神奈川
理事 事務局長	青山 修司	大阪
監事	小山田 明	秋田
監事	佐滝 剛弘	光華女子学園
顧問	後藤 治	工学院大学
事務局	小栗 真弥	愛知

- (4) 全国近代化遺産連絡協議会総会に参加した
- (5) 赤煉瓦ネットワーク 2019 泉州大会に参加した
- (6) 文化庁(東京)杉浦審議官・豊城監査官と意見交換を行った。
- (7) 文化庁地域文化創生本部(京都)岡本調査官・村上調査官と意見交換を行った。
- (8) その他以下の方々と交流を行った。
- 全国農協観光協会事業部地域振興活性化事業 第1グループ
 - 株式会社地域経済活性化支援機構 (REVIC)
 - バリューマネジメント株式会社
 - READYFOR 株式会社クラウドファンディング事業
 - 一般社団法人ノオト・株式会社 NOTE
- (9) 「北畠の家」(渡邊邸)見学会及び懇談会に参加した

5、大阪府建築士会への参加

各種事業の共催・参加のため大阪府建築士会に参加した。(参考)

公益社団法人大阪府建築士会社会貢献部門ヘリテージ委員会			
担当副会長	上田茂久	委員	所 千夏
特任相談役	山地康夫	委員	寺西興一
部門長	仙入 洋	委員	埴平 進
委員長	阪田晴宏	委員	茶之木宏次
副委員長	青山修司	委員	水谷清乃
副委員長	分田よしこ	委員	尾谷雅彦

6、大阪府ヘリテージマネージャー協議会への参加

各種事業の共催・参加のため大阪府ヘリテージマネージャー協議会に参加した。

大阪府ヘリテージマネージャー協議会運営委員会			
会長	尾谷雅彦	委員	埴平 進
副会長	所 千夏	委員	田中則明
副会長	青山修司	委員	盧 永春
会計	小林美登	委員	水谷清乃
監査	昇 勇	委員	水間徹雄
委員	谷口由佳子	委員	宮上日奈子
委員	羽木 みどり	委員	小谷川勝
委員	森本晃尚	委員	能勢 昇
委員	寺西興一	委員	信藤勇一
委員	茶之木 宏次	委員	濱野宏明

議案2号 令和元年度 決算(別紙)

議案3号 令和元年度 監査報告(別紙)

議案4号 令和2年度 事業計画

I 重点課題

1、大阪府建築士会主催の文化庁補助事業(事業費1800万円)

(1) 大阪府登録有形文化財ポータルサイト

(スマホ等で登録有形文化財の検索が日本語及び英語・中国語(繁体字)でできるようになったが、さらに中国語(簡体字)・韓国語でもできるよ

うにする。さらに建築用語集等を作成する)

(2) **地域の情報発信事業**

(南河内地区のMAPを作成する。)

(3) **登録文化財建物の案内説明板の制作**

建物の概要等の案内板を建物に設置し、来訪者に情報を提供する。(18箇所)

(4) **大阪府ヘリテージマネージャー育成事業**

10回の育成講座(20名)及び2回のステップアップ講座(30名)を開催し、約20名のヘリテージマネージャーを育成する。

(5) **登録文化財の活用を通じて保存を学ぶ**

登録有形文化財の視察に加え、ワークショップを行い、また、その周辺の街並みについても観光ガイドの人材を育成する。

(6) **大阪講談の楽しみ方**

大阪講談の魅力を発信し、東京オリンピック講談戦隊・伍輪者として活躍している玉田玉秀齋講談師に話してもらう。

参考

<全国組織の状況>

(1) **全国国登録有形文化財所有者の会連絡会**

(略称：全国登文会連絡会 H28.11.13 設立)

(2) **他県の登録有形文化財所有者の団体**

① **京都府国登録文化財所有者の会**
(H19.4.22 設立)

② **秋田県登録文化財所有者の会**
(H21.12.6 設立)

③ **愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会**
(H23.6.26 設立)

④ **群馬県登録文化財協会**
(H23.12.3 設立)

⑤ **東京都登録有形文化財建造物所有者の会**
(H23.12 設立)

⑥ **和歌山県登録有形文化財所有者の会**
(H25.3.23 設立)

⑦ **みえ登録有形文化財建造物友の会**
(さんとうぶん) (H29.11.23 設立)

⑧ **神奈川県登文会** (H30.4.8 設立)

⑨ **福岡県所有者の会**

⑩ **阪神登録有形文化財伴の会**

2、小冊子「大阪府の登録文化財(2021年版)」

小冊子「大阪府の登録文化財(2012年版)」の改定に向けて準備を行う。

II 通常課題

1. 年間の事業計画や事業報告を行うために、総会を年1回開催する。

2. 会報の発行

3. 文化財に係わる講演会、フォーラム、シンポジウムを適宜開催して、登録文化財への市民の関心を高め、知識の普及に努めるとともに、交流を図る。

4. 会員の所有する登録文化財に係わる情報交換や活動を支援する。

5. 会員相互および文化財所有者等との交流会や親睦会を行う。

議案5号 令和2年度 予算

(別紙で議案6号と誤記されていたので、修正された)

議案2号(R1年度決算)、議案3号(監査報告)及び議案6号(R2年度予算)

別紙
(単位:円)

収入

科目	項目	摘要	R1年度 予算	R1年度 決算	差額 決算-予算	摘要	R2年度 予算	摘要
A	前期繰越金		808,884	808,884	0		830,683	
B	会費		340,000	330,000	-10,000	2000円*170口	340,000	2000円*170口
			15,000	11,500	-3,500	500円*30人	12,500	500円*25人
C	事業費		10,000	0	-10,000	500円*20人	10,000	500円*20人
			10,000	0	-10,000	事業なし	10,000	500円*20人
D	交際費		150,000	150,000	0	500円*20人	150,000	500円*20人
				16550	16,550	5000円*30人	15,800	5000円*30人
E	雑収入		3	5	2	プロジェクター使用料等	5	機器貸出料等
			525,003	508,055	-16948	金利	538,305	金利
F	当期収入(B~E)		1,333,887	1,316,939			1,368,988	
G	収入合計(A+F)							

支出

科目	項目	摘要	R1年度 予算	R1年度 決算	差額	摘要	R2年度 予算	摘要
H	事業費		200,000	0	200,000	冊子改定版準備	200,000	冊子改定版準備
			30,000	0	30,000	設置代金等	30,000	視察会
I	広告宣伝費		60,000	10,900	19,100	設置代金等	30,000	講演
J	諸会費		50,000	44,156	15,844	レンタルサーバー・ソフト	60,000	HP、WEB作成ソフト
K	通信費		50,000	16,974	33,026	全国登文会・全近等	50,000	全国登文会・全近等
L	印刷費		50,000	24,080	25,920	他団体会費等	50,000	年報印刷
M	旅費		120,000	112,280	7,720	年報印刷	150,000	旅費
N	会議費		30,000	17,064	12,936	諸会議参加交通費	56,400	貸室料、WEB会議費用
O	交際費		150,000	180,700	-30,700	貸室料	150,000	5000円*30人
P	事務費		100,000	38,418	61,582	総会懇親会	50,000	発送作業、手数料
Q	雑支出		10,000	0	10,000	発送作業、手数料	10,000	雑支出なし
R	予備費		20,000	0	20,000	雑支出なし	20,000	予備費支出なし
S	当期支出(H~R)		900,000	486,256	413,744	予備費支出なし	906,400	
T	当期収支(F-S)		-374,997	21,799			-368,095	
U	次期繰越金(A+F)		433,887	830,683			462,588	
V	支出合計(S+U)		1,333,887	1,316,939			1,368,988	

議案3号 令和1年度 決算監査報告
令和1年度の「大阪府登録文化財所有者の会」の収支決算について、関係書類を審査した結果、収入、支出とも適正かつ正確に処理されていることを認めます。

監査 小谷 寛 印

神谷 悠実 印

令和2年度大阪府ヘリテージマネージャー育成講座内容

公益社団法人大阪府建築士会

回数	日曜	開始時間	単位数	内容(予定)	講師	会場(予定)
1	8月29日(土)	13:00	4	オリエンテーション	所 千夏 (公社)大阪府建築士会 理事 ヘリテージ委員会 委員長 ※	綿業会館 本館
		13:30		保護法改正・具申書の書き方	田中 禎彦 文化庁文化財第二課登録部門 文化財調査官	
		14:45		大阪府内の文化財	神谷 悠実 大阪府教育庁文化財保護課 文化財企画グループ 副主査	
		16:15		登録文化財とヘリテージマネジメント	畑田 耕一 大阪大学 名誉教授 大阪府登録文化財所有者の会 名誉会長	
2	9月5日(土)	13:00	2	民家の間取りと構造	中川 等 大阪産業大学 准教授	天野山 金剛寺講堂
		15:00	2	日本建築史概論(社寺を中心に)	櫻井 敏雄 和歌山県文化財センター 理事長	
3	9月26日(土)	13:00	4	実測調査演習	昇 勇 昇設計室 代表 ※	杉江龍楽堂 (岸和田市)
		15:00		歴史的建造物の活用提案	青山 修司 大阪府登録文化財所有者の会 及び 国登録有形文化財全国所有者の会 事務局長 ※	
4	10月3日(土)	13:00	2	文化財の活用とマネジメント	高田 昇 株式会社コム計画研究所 代表 立命館大学 名誉教授	中山家住宅 (松原市)
		15:00	2	歴史的建造物の修復事例	好川 忠延 好川忠延建築設計事務所 代表	
5	10月24日(土)	13:00	2	地域の文化財保護の流れ (建造物を中心に) 古建築の基礎知識の解説	尾谷 雅彦 天野山金剛寺 文化財顧問 ※ 茶之木 宏次 アークスタジオ一級建築士事務所 代表 ※	観心寺
		15:00	2	社寺建築の基本設計について (外部空間・内部空間)	櫻井 敏雄 (前出)	
6	11月7日(土)	13:00	2	船場の近代建築からわかること	倉方 俊輔 大阪市立大学大学院工学研究科 都市系専攻 准教授	綿業会館 新館
		15:00	2	大阪の都市的展開とその特色	中嶋 節子 京都大学大学院 人間・環境学研究所 教授	
7	11月21日(土)	13:00	2	木構造からみた歴史的建築物の改修	梶原 健一 株式会社SERB 代表取締役	大阪市立 中央公会堂 (中之島公会堂) 大会議室
		15:00	2	非木造の耐震補強	西村 清志 株式会社平田建築構造研究所 代表取締役	
8	12月5日(土)	13:00	2	大阪の近代長屋	和田 康由 大阪市立都島第二工業高校 元教諭	大阪府 建築士会
		15:00	2	文化財の防災対策	吉村 英祐 大阪工業大学工学部 建築学科 特任教授	
9	12月19日(土)	13:00	2	住まい手からみた重文民家の実情	磯田 智子 大阪教育大学 教育学部 教育協働学科 教授	大阪府 建築士会
		15:00	2	歴史的建造物の修復と関係法令	小林 初恵 堺市 文化財課 丸石 暢彦 (公財)文化財建造物技術保存協会	
10	令和3年 1月16日(土)	13:00	4	活用提案の発表・講評	- 大阪府ヘリテージマネージャー	大阪府立 中之島図書館
		16:30		育成講座を終えて	所 千夏 (前出) ※	

講師欄の※は大阪府ヘリテージマネージャーを示す。

* 8月29日の講義終了時間は17:30。終了後、交流会を予定しています。
見学先や会場などの都合により、会場や受講時間帯が変更となる場合があります。

2020/08/05版



はじめよう、文化財の活用

毎回異なる国登録有形文化財を会場に、建物見学やワークショップ、周辺のまち歩きを行います。所有者から保存と活用の取組み事例や課題についてのお話を伺いながら、活用を通じて文化財を保存する力、いわゆる「文化財の活用」を学ぶ講座です。

定員 24名
対象 中学生以上
参加費 1500円/回
全5回(単発受講可)
会場・場所と内容が異なります



第1回 国登録有形文化財(豊中市) 竣工 江戸中期 2020 10/31(土) 【集合】13:15 阪急宝塚線「岡町」駅改札 13:30~16:30

「染藍で染めを楽しむ」

講師：松村多美子 藍華会代表
染(すくも)は藍染の原料です。絞り染技法でハンカチ、スカーフ、ポケットチーフを染めてみませんか？



13:30 「岡町」駅出発 → 原田神社 → 14:00 奥野家見学・所有者のお話 → 14:30 ワークショップ(藍染) → 16:30 終了

第2回 国登録有形文化財(堺市) 竣工 江戸後期 2020 11/28(土) 【集合】13:15 現 地(裏面地図参照) 13:30~16:30

「瓦の拓本を通して歴史を感じる」

講師：田中敏雄 大阪芸術大学教授
兒山家住宅の瓦表面の文様を墨を使って紙に写す拓本を通して、江戸後期からの歴史を感じてみませんか？



13:30 所有者、講師のお話・建物周辺見学・スタンプラリー → 14:30 ワークショップ(拓本) → 16:30 終了

第3回 国登録有形文化財(郡田林市) 竣工 江戸末期 2020 12/12(土) 【集合】13:15 現 地(裏面地図参照) 13:30~16:30

「酒蔵で楽しむ「弁士付無声映画-浮草物語」

講師：濱口十四郎 ^{NEO}「京都の文化を映像で記録する会」理事長
講師：遊花(嶋田恵子) 無声映画活動弁士
明治時代に建設の酒蔵の広い空間で、小津安二郎監督生誕117年のこの日に「浮草物語」を楽しみませんか？



13:30 所有者のお話・建物見学 → 14:30 ワークショップ(映画「浮草物語」鑑賞・解説) → 16:30 終了

第4回 国登録有形文化財(東大阪市) 竣工 江戸末期 2021 1/23(土) 【集合】13:15 近鉄奈良線「石切」駅南口改札 13:30~16:30

「江戸の古民家で大阪欄間にふれる」

講師：大阪欄間工芸協同組合
ミニ欄間や便利板など数種類のデザインから好みのデザインを選んでいただき、大阪欄間にふれてみませんか？



13:30 「石切」駅石切出発 → 14:00 藤井家見学・所有者のお話 → 14:30 ワークショップ(大阪欄間) → 16:30 終了

第5回 国登録有形文化財(大阪市) 竣工 昭和12年 2021 1/30(土) 【集合】13:15 JR環状線「寺田町」駅北口改札 13:30~16:30

「『能面』から見る能の魅力」

講師：林本大 能楽師観世流シテ方準職分
ユネスコ無形文化遺産に登録され600年以上の歴史をもつ能。その魅力を「能面」を通じてふれてみませんか？



13:30 「寺田町」駅出発 → 14:00 源ヶ橋温泉見学・所有者のお話 → 14:30 ワークショップ(能) → 16:30 終了

第1回 ^{すくもあい} 染藍で染を楽しむ

日 時：2020.10.31（土）13：30～16：30 場所：奥野家住宅（豊中市） 参加者：24名



原田神社の見学

<まちなみや建造物の見学>

参加者は阪急宝塚線岡町駅に集合し、ヘリテージマネージャー昇勇氏の案内で、原田神社や能勢街道の歴史、奥野家との関係などの説明を聞きながら、奥野家までのまちなみを楽しみながら散策しました。

原田神社は、社伝によると天武天皇の頃の創建。本殿は慶安5年（1652）再建。全国的にも少ない五間社流造の形式で、平成5年に重要文化財に指定されました。

<奥野家のお話>

奥野家は、江戸時代に庄兵衛の名で桜塚村安部藩領の庄屋、明治時代には村長を務めました。主屋のほか門長屋、土蔵、附属屋、中門、露地門などが建っています。阪神・淡路大震災で大きな被害を被りましたが、地域の人々が集い活用する場として再生されました。主屋は、「桜の庄兵衛ギャラリー」として定期的なコンサートなど様々なイベントを開催し、市民にも開放され、積極的な活用が図られています。所有者の奥野久栄様より今に至るまでの歴史と活用への想いをお聞きしました。



奥野家住宅・土間で所有者のお話



松村先生のお話

<染藍（すくもあい）で染めを楽しむ>

藍染作家の松村多美子先生（藍華会代表）に藍の原料や藍染めの話をお聞きした後に、絞り染め技法で染めの体験をしました。生地への折り方や針の刺し方による模様や、染料に浸す回数による藍色の濃淡の違いなど、その都度、先生に丁寧にご指導いただきながら藍染めを楽しみました。



<参加者の声>

見学および所有者のお話・藍染め体験ともに「大変良かったです」という意見が大多数でした。「岡町の文化財や奥野家住宅を見学する貴重な機会となりました。」「藍染を自分でやってみて貴重な体験となりました。」「とても楽しい雰囲気でした。」などの意見をいただきました。

第2回 瓦の拓本を通して歴史を感じる

日 時：2020.11.28（土）13：30～16：30 場所：兒山家住宅 参加者：26名

<建造物等の見学>

兒山家住宅の外観見学と、様々な種類の瓦を見つけるスタンプラリーを行いました。案内人の昇勇氏から説明を聞きながら瓦を発見し、田中先生の説明をお聞きし座敷の金子雪操の襷絵をガラス越しに見学。具体的な視点からの建造物の見学は、参加者の興味をかきたてたようで大変楽しいものとなりました。また、土塀が改修工事中で、伝統的な工法の説明とそれを実際にみるという機会にも恵まれました。



兒山様のお話と田中先生の拓本実演

<兒山家のお話>

所有者の兒山万珠代様より地域と兒山家の歴史や暮らし方、保存と活用に対する想いを伺いました。また、ナヤ・ミュージアムや楽畑のスタートから現在へつながる活動のお話を通して、ご自身の建物に対する愛情はもちろんのこと、地域の景観に寄与することも大切にされていることがよく伝わりました。



兒山家住宅の本瓦葺の屋並

<瓦の拓本>

講師の大阪芸術大学名誉教授田中敏雄先生の実演のあと、2班に分かれての拓本づくり。参加者全員が初めての体験で、大変な集中力と積極的な先生への質を学びました。また、兒山家住宅の江戸時代の瓦に直接触れていただくことで、歴史の重みと維持・保全・活用の大切さを、参加者の方には感じていただけたようです。



<参加者の声>

「所有者の方の姿勢が見えて良かったです。」「直接お話を聞ける貴重な機会でした。」など、歴史的建造物で生活し、季節の室礼を大切にし、そして楽しむ所有者に共感される方が多かったようです。拓本は「瓦の模様がわかりやすくなり、刻印が浮かび上がって驚きました。」「あまり普段できない経験ができました。」「失敗したけど、手順がわかって楽しかったです。」という意見をいただきましたが、少し難しかったようで、また改めてチャレンジしたいという方が多くいらっしゃいました。



第3回 酒蔵で楽しむ「弁士付無声映画—浮草物語」

日 時：緊急事態宣言により延期 2021. 02. 20(土) 13:30~16:30 場所：岩根家住宅 参加者：22名

<建造物等の見学>

所有者の岩根正尚様より、建造物を見学しながら、主屋や奥座敷を中心として江戸時代後期以降の建築の変遷と、酒蔵を含む屋敷地内の工場遺構についての説明を受けました。また、大釜の天水受けや樽を改装した茶室など、酒蔵遺構の活用方法についてもお話をお聞きした。

<岩根家のお話>

岩根様より甘山村の出郷・五軒家の歴史的な背景、そして酒蔵の耐震改修と現在の活用状況や活用例に関するお話もいただきました。

<弁士付無声映画—浮草物語>

濱口十四郎様から小津安二郎監督と無声映画の歴史のお話をお聞きし、その後、弁士の遊花（嶋田恵子）様の語りで小津監督の無声映画「浮草物語」を楽しみました。歴史を感じさせる酒蔵の天井の高い雄大な空間と映画の雰囲気と遊花様の声が調和し大変心に残る上映でした。また、参加者のほとんどは無声映画が初めてということでしたが、空想をかきたてる部分も多くあり、大好評でした。歴史的建造物の隙間からの通風や換気など、withコロナに対応した点も評価されたようです。

<参加者の声>

「弁士の語りに引き込まれました。」「酒蔵の暗い中で見る映画もいいものだと思います。」「浮草物語が良かったです。」「岩根様に丁寧にご案内いただき貴重な機会となりました。」「酒蔵で無声映画を見て良かったです。」等のご意見をいただき、空間と映像と弁士の声が相乗効果をもたらしたイベントでした。



主屋前にある大釜を利用した天水受け



岩根様により五軒家の歴史の説明



第4回 江戸の古民家で大阪欄間にふれる

日 時：緊急事態宣言により延期 2021.3.6(土)13:30~16:30 場所：藤井家住宅 参加者：11名

<建物の見学>

藤井家の敷地内をめぐりながら、小原様より庭や植栽の話に興味深く伺いました。敷地内には7件の登録有形文化財と、大変めずらしいナショナルのプレハブ住宅がありました。きれいに保存・活用されていて、今後は、登録有形文化財にしたいと話されていました。



ナショナルのプレハブ住宅

<藤井家のお話>

建物を管理されている小原公輝様より、江戸時代中期から末期に建てられた主屋など藤井家の建物の歴史や柱などの部材の話をおききました。



藤井家住宅の長屋門・土蔵・主屋

<大阪欄間にふれる>

大阪欄間工芸協同組合のスタッフの方々により、テーブルごとに、彫刻刀の使い方や作品を仕上げる順序などを詳しく指導していただきました。大変難しい部分は手助けをしてくださり、皆さん納得の出来栄のようでした。概ね半数の方が、追加料金を払い難易度の高い作品にもチャレンジされていました。彫っているときは口数も少なく熱中されていて、完成後の作品に達成感を得られたようです。大変興味深いワークショップでしたが、コロナ禍で参加者が少なかったのが残念でした。

<参加者の声>

「古い家を保存していくのは大変なことですね。でも昔の家は大好きです。落ち着きます。」「木を削るって、何十年ぶり？先生もやさしく、作業する仲間とも楽しく会話できました。」「作る楽しさをあじわえておもしろかったです。」夢中で彫刻刀をにぎり、あっという間に時間が過ぎたようでした。帰りには藤井家で咲いた満開のミモザの切り花をいただき、早春の思い出となりました。



第5回 「能面」から見る能の魅力

日 時：2021.1.30.（土）13：30～16：30 場所：源ヶ橋温泉 参加者：22名

<まちなみの見学>

JR 環状線の寺田町駅から生野区に残っている昔ながらの長屋街や昭和の雰囲気のをのこすレトロな商店街をめぐりました。



昭和の雰囲気を残すまちなみの散策

<源ヶ橋温泉のお話>

所有者の中島弘様より、源ヶ橋温泉の銭湯としての歴史や名前の由来などのお話を伺いました。2階のホールにも案内していただき、昔どのように使われていたかも教えていただきました。当日はテレビの取材もあったことで、普段なかなかお聞きできない貴重なお話もありました。今後も色々と活用したいし、皆さんにも使ってほしいと話されていたのが印象的でした。



源ヶ橋温泉 正面

<能の魅力>

男女それぞれの能面を脱衣室のロッカーの中に展示していただきました。ロッカーの扉を開けると能面があり、新鮮な驚きでした。能面の違いの説明や、能面の見せ方や向きにより、表情が違うことも実演してい

ただき、能の観賞の手助けになる話をお聞きできました。能の舞や着付けなど盛りだくさんの内容で、受講者の多くの方が喜んでおられました。演者の方は銭湯での能は初めてということでしたが、音がよく響き、素敵な舞台になると感じていただけたようでした。



<参加者の声>

「所有者のお話で、昔の様子が手に取るようによく分かりました。」「音がよく響いてよかったです。」「能の説明が細かく丁寧で、着付けも普段は見れないのでとてもよかったです。」「能がよく理解できました。」「能は初めてでしたが、興味が沸きました。能面の説明が分かりやすく面白かったです。」銭湯と能は、参加者の方々にとっても斬新な組み合わせだったようです。



国登録有形文化財建造物の保存と活用のシステムの構築と課題

文化庁の委託事業で「令和2年度 NPO 等による文化財建造物管理活用の自立支援モデル検討事業」として大阪登文会が提出した「国登録有形文化財建造物の保存と活用のシステムの構築と課題」が採択され、受託して行った。

1、次世代に継承される登録有形文化財に

登録文化財制度ができ、4 半世紀になろうとしている。その件数は、全国で 17000 件を超え、大阪でも 700 件を超え、順調に伸びているといえよう。

しかし、登録有形文化財、特に建造物の所有者（以下所有者という）からは、改修工事費や維持管理費の負担や活用事業のあり方などの不安から「将来、子供や孫たちに登録有形文化財を継承してもらえるのか」という声が多くある。所有者が登録有形文化財を継承していくためには、所有者が自発的に保存や活用が行われるようなシステムが必要と考え、それぞれについてマニュアルの作成を行った。

2、建物点検マニュアル

保存については、まず、所有者が日常的に行う建物点検マニュアルを作成した。建物の用語については、できるだけ平易な言葉を使い、写真でもそれを補った。その内容もできるように項目をしぼり所有者が簡単にできるものにした。そして、災害時の点検にも使えるようにし、さらに建築の専門家につなげるようにした。

3、建物カルテの作成

また、登録有形文化財ごとにカルテを作成し、建物概要や修繕履歴等を明らかにし、修繕業者との一体感が生まれるように様式を定めた。

4、修繕工事業者の選定

それに修繕工事等を行うについても適切な業者を選定するのに困っているとの声があり、所有者が過去に使用した業者をリスト化し、所有者の要望に応じて、大阪登文会がお知らせすることになっている。

5、登録有形文化財の活用

登録有形文化財の活用については、これまで

テナントに貸すことや宿泊所や飲食店にすることで収益をうるものがあった。一方、公開事業や様々なイベントなどの活用が行われてきたが、これらは、所有者やボランティアの善意や行政の補助により行われてきたものが多い。

6、活用マニュアルの作成

公開事業についても自立する必要がある。収益を考える必要がある。活用メニュー、公開事業マニュアル、イベントマニュアルを作成した。また、所有者と活用者を結ぶためにこれまで活用した業者リストを作成した。このことによって建物を提供できる所有者とそこでの活用を希望する者とが円滑に結び付けられるようにした。

目 次

- 1、登録文化財マニュアルの使用方法について
- 2、登録文化財建造物カルテの使用方法について
- 3、登録文化財マニュアル<保存編>
 - ・登録文化財建造物カルテ
 - ・所有者による建物の日常点検マニュアル(木造、RC 造)
 - ・所有者による建物の災害時点検マニュアル(木造、RC 造)
 - ・点検時参照写真(木造、RC 造)
 - ・専門家による建物の点検マニュアル(木造、RC 造)
- 4、登録文化財マニュアルの使用方法について<活用編>
- 5、登録文化財マニュアル<保存編>
 - ・活用方法事例一覧
 - ・公開事業マニュアル
 - ・イベントマニュアル
- 6、保存・活用マニュアルに関する参考資料
 - ・消火器の使い方
 - ・オンライン事業
 - ・住宅用火災警報装置
 - ・収支計算書
 - ・保存関係者項目一覧
 - ・資金計画表
 - ・事業枠組み例
 - ・活用関係者項目一覧
 - ・資金調達方法
 - ・大阪府登録文化財所有者の会

(点検マニュアルの事例)

所有者による建物の点検マニュアル(木造日常点検用)

点検日	年 月 日 () : ~ :	天気	
点検者	建物名称		

*点検は基本的には目視によるものとします。 **◎太字は毎月点検の点検箇所を示します。

点検部位		点検項目等	自由記入欄	点検
外部	屋根	◎ 屋根瓦に割れやずれなどが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		◎ 銅板等の金属屋根がはがれている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		◎ 軒裏天井にシミなどが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		◎ 軒樋や堅樋が外れたりしている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		◎ 樋から雨水があふれている(葉等が詰まっている)		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	外壁等	◎ 外壁塗壁等に目立ったひび割れなどが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		◎ 外壁板壁等に割れや欠損などが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ 外部に面した木に腐朽などの劣化部分が見られる		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ 雨戸や窓、扉の動きが悪くなっている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ 建物にツタなど草木がからんでいる		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ シロアリを見たことがある		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
内部	柱・梁	○ 柱の傾きがある		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ 柱、梁の腐朽が見られる		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ 柱と鴨居、建具との隙間が目立っている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	天井	◎ 天井にシミなどが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ 天井に欠け、ひび割れなどが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	壁	◎ 壁にシミなどが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ 壁の欠けやひび割れなどが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	床	○ 床に沈みや音鳴り、きしみなどが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ 床に傾きが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ 土間が湿気ている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
建具	○ 室内の建具の動きが悪くなっている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
屋根裏 (目視可能な場合)	○ 野地板等に水染みなどが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
	○ 小屋組み等に割れや欠損などが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
床下 (目視可能な場合)	○ 床下が湿っている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
	○ 床組みに腐朽やシロアリなどによる劣化が見られる		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
	○ 束が基礎石からずれている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
設備	○ 全ての蛇口を閉めても水道メーターが動いている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
	○ 電気のブレーカーがよく落ちる		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
	○ 消火器や警報器がない		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
外構	門扉、塀	○ 門扉の動きが悪くなったり、劣化が見られる		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ 土塀などの塀に傾きや劣化が生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	外部回り	◎ 庭などの外構部分にひび割れが生じている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		○ 大雨の時、庭等に水が溜まっている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
その他	◎ ネズミやイタチ、コウモリ等の小動物が住んでいる		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
	○ 建物の中でカビ臭さを感じる		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	

*調査できない場合や該当項目がない場合は自由記入欄に記載してください。

連絡事項(自由記入)

*不具合箇所がある場合、写真撮影をお願いいたします。

御財印帳の取り組み（たてもの御財印めぐり）

大阪府登録文化財所有者の会といたしまして、令和2年度の泉南市誘客事業を受託いたしました。泉州地域の歴史的建造物への誘客を目的としているため、泉南市を中心とした泉州地方の歴史的建造物をめぐり、地域の人たちとふれあう大人の遠足をテーマとして事業を設定いたしました。そのツールといたしまして、御財印および御財印帳そして特製サコッシュを作成いたしました。御財印はその歴史的建造物の特徴的なパーツで作成されています。今年度は15カ所の御財印をつくりました。



「たてもの御財印めぐり」とは、泉州地域で大切にされてきた文化財をめぐり、地域の人たちとふれあうことと、「泉南らしき」を築くレトロな洋館や風情ある古民家など、歴史的建造物建築物をめぐるオトナの遠足です。
（御財印の頒布にのみ使用する文化財の像のために用います）



財が入った福袋に蛸模様の瓦のへたがついたお茄子の形。「文化財」と泉州を象徴する「水なす・たこ・瓦」が融合。財とお茄子で「財を成す」ともかけています。



御財印帳を持って、泉南市内の御財印スポットをめぐると、「御財印バッジ」がもらえます。すべて集めて泉南市埋蔵文化財センターに来館すれば「国史跡海会寺跡オリジナルキーホルダー」か「むかしの組みももづくり体験」のいずれかひとつをプレゼントいたします。



（主催）泉南市教育委員会
（企画支援）大阪府登録文化財所有者の会
（問合せ）泉南市埋蔵文化財センター
〒599-0505 大阪府泉南市信達大南代374-4
メールアドレス: mailbun@city.senami.lg.jp
連絡先: 072-483-6789 ファックス: 072-483-7089

あとがき

新型コロナウイルスの感染拡大は、全世界に広がり、パンデミックとなり、ヘリテージの活動もその対策が余儀なくされました。それは、お願いしていた講演会場が、使えなくなり、急きょ会場を変更したり、また日程を変更するなどしました。また、どうしても無理な場合は、講師の先生にビデオ撮りをお願いし、それを編集し、後日、見ていただくことで切り抜けました。会場では、受付で手指消毒や検温をし、各席の適正なソーシャルディスタンスを確保することや部屋の換気にも配慮するなど対策をしていただけました。その努力で予定の行事が無事終えたことに感謝しております。

（文責 寺西）